

2 教科別概要（ペーパーテスト、質問紙調査）

（1）小学校国語

出題方針

ア 学習指導要領の目標、内容に即し、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」の3領域1事項から出題する。

イ 「国語への関心・意欲・態度」「話す、聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の5つの観点から出題する。

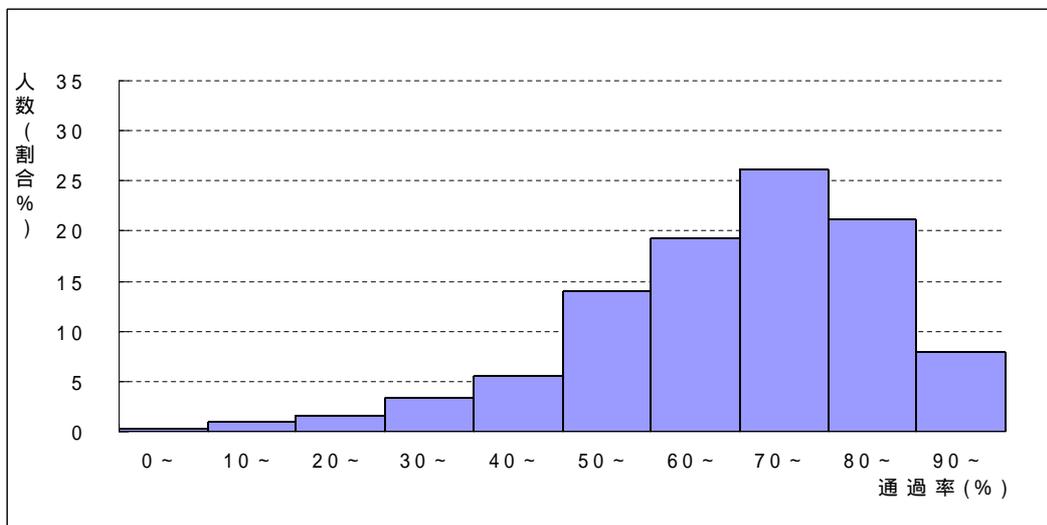
通過率と通過率分布

ア 通過率

通過率	設定通過率
69.2	71.1

イ 通過率分布

通過率	0 ~ 10.0	10.1 ~ 20.0	21.1 ~ 30.0	30.1 ~ 40.0	40.1 ~ 50.0	50.1 ~ 60.0	60.1 ~ 70.0	70.1 ~ 80.0	80.1 ~ 90.0	90.1 ~ 100
分布(%)	0.3	1	2	3	6	14	19	26	21	8



考察

通過率は69.2%で設定通過率とほぼ同程度であり、学習内容の定着については「おおむね良好」な状況と考えることができる。

通過率70%以上の児童の割合は約55%であり、学習内容は、おおむね定着していると考えられる。

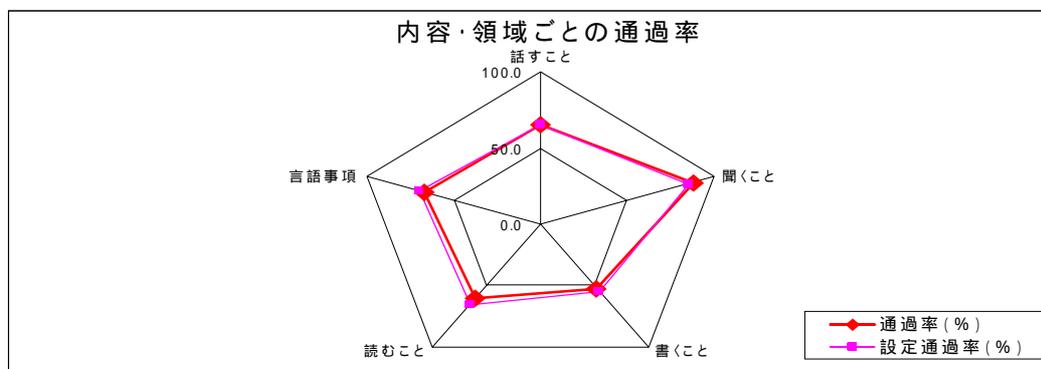
各設問の通過率

考 察

全問題のうち、通過率が設定通過率を上回るものが8問、同程度のものが16問、下回るものが8問である。このことから、学習内容は、おおむね定着していると考えることができる。

内容・領域ごとの通過率

内容・領域等	話すこと	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
通過率(%)	65.2	87.8	51.9	60.1	67.3
設定通過率(%)	65.0	85.0	55.0	65.0	69.7

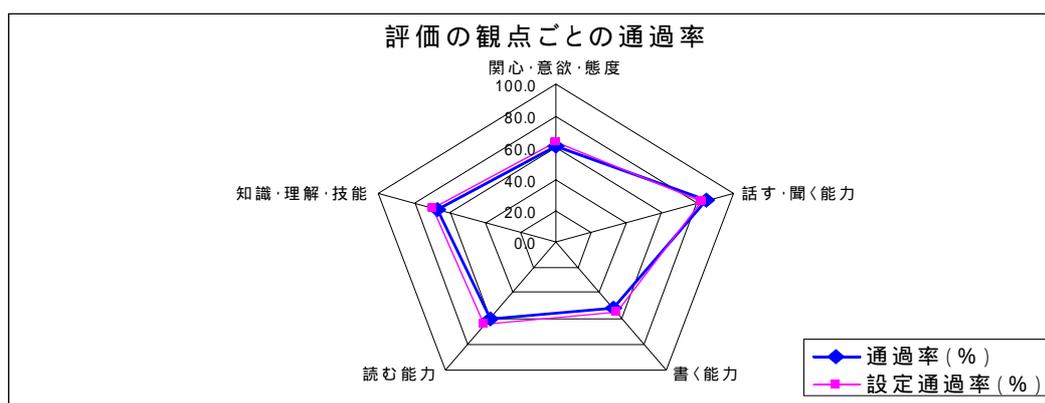


考察

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」の3領域1事項について、通過率が設定通過率とほぼ同程度であることから、「おおむね良好」な状況と考えることができる。

評価の観点ごとの通過率

内容・領域等	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能
通過率(%)	60.8	84.5	51.9	60.1	66.7
設定通過率(%)	63.3	82.1	55.0	65.0	69.4



考察

「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の5観点について、通過率が設定通過率とほぼ同程度であることから、「おおむね良好」な状況と考えることができる。

今後の指導について（指導方法改善のポイント）

全 体

学習内容の定着については「おおむね良好」な状況と考えることができるが、「読むこと」「言語事項」における応用・発展的な問題の通過率が低く、個々の問題について考察し、きめ細かな指導の充実に努めることが必要である。

「朝の読書」など各学校で読書活動を推進しているが、今後も幅広く読書に親しみ、読書を通して考えを広げたり深めたりするために、必要な図書資料を選んで読むことの指導を充実していくことが必要である。

内容・領域別

話すこと・聞くこと

- ・ 「聞くこと」は通過率が高い状況にあるが、今後、「話すこと」の指導を一層充実し、バランスのとれた力を身に付ける必要がある。

書くこと

- ・ 「文脈の通った文章を書くこと」「段落と段落との続き方に注意をして書くこと」等、書こうとすることが明確になるように、叙述する能力や態度を育てる指導方法を工夫する必要がある。

読むこと

- ・ 「文章の構成を読み取る」「キーセンテンスを見つける」などの問題の通過率が低い状況が見られる。今後、「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて、段落相互の関係を考え、文章を読む」力を身に付ける指導の充実が必要である。

言語事項

- ・ 語句の意味をとらえたり、文章にふさわしい助詞や副詞を選んだりする内容は設定通過率を上回る状況にある。しかし、主語と述語の関係、修飾語と被修飾語の関係など文の構成に関する事項の通過率は低く、様々な機会をとらえて指導する必要がある。
- ・ 漢字については、総画数、部首などの知識理解は設定通過率を上回る状況にあるが、書き取りは十分でない状況が見られる。今後、新出漢字の活用などの指導取り入れ、児童の興味・関心を高め、語彙を増やすとともに、反復学習等を通じて定着を図る必要がある。